

年 度	2019年度（平成31年度）		
科 目	医療秘書（法規） 【講義形式】		
担 当	畑山佳之	使用教室	41
実務経験	滋賀医科大学口腔外科にて、歯科医師として歯科医療の臨床、および看護学部の学生の講義を担当		
種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 前期		
到達目標	医療事務の基礎知識を習得し、実践できる技術を身につけ、診療報酬請求事務能力認定試験に合格する		
資格実施月	2019年6月、11月		
評価方法	定期考査（中間・期末）の成績（70%）と平常点（レポート提出、出席状況等）30%の合計		
教科書等	新医療秘書実務シリーズ 改定医療秘書等		
授業計画	<p>患者、受診者への対応や、医療従事者をサポートする専門職種が医療秘書であり、その仕事の意義や内容を学び、更には検定試験に向けてその試験対策を行っていく</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1週から第2週 日本の医療と、日本における医療発展の沿革 日本の病院の成り立ちとヨーロッパの病院</li> <li>2. 第3週から第2週 医療事務の発展と病院の組織 病院の活動システムと病院数の推移</li> <li>3. 第5週から第2週 医療施設および病床の種類と数 医療圏とは</li> <li>4. 第7週から第2週 診療報酬の支払い方式と医療機能評価 救急医療体制と災害時医療</li> <li>5. 第9週から第2週 変革が進む病院医療 医療・介護の一体的な改革 DPC制度の現状と将来</li> <li>6. 第11週から第2週 欧米の医療秘書の現状 欧米の医療秘書の資格 欧米の医療秘書の業務</li> <li>7. 第13週から第2週</li> </ol>		

	<p>日本の医療秘書の現状 日本の医療秘書の資格 日本の医療秘書の業務</p> <p>8. 第15週から第2週 医療秘書への理解 医療秘書の資質 医療秘書の倫理観</p> <p>9. 第17週から第2週 医療秘書の役割と定義 医療秘書の職種 教授秘書と院長秘書 医局秘書と病棟クラーク 医事課秘書と医師事務作業補助者</p>
--	--